

ひがしおわりの窓

平成23年3月発行 第6号

基本理念

患者さんの立場に立ち、基本的人権を守り、より安全な医療を提供します。

御挨拶



院長
舟橋 龍秀

今年の冬は例年になく寒い日が続き、名古屋市内でも積雪がありました。しかし、子供の頃は、今よりも暖房設備は不十分で、寒い朝、登校時に足を石油ストーブで火傷するくらい炙っても、学校に着く頃には痛いくらいに冷たくなっていたことを思い出し、便利な生活にすっかり慣れてしまったのかな、と思うこの頃です。

さて、東尾張病院は、御承知のように、独立行政法人国立病院機構の一員で、全国に13ある機構内の精神科専門病院の一つであり、国の政策的医療を担う役割を持っています。中でも、心神喪失者等医療観察法に基づく医療については、平成17年12月以来、5年間で約100名の入院を受け入れ、約70名がそれぞれの住居地に退院ないし転院しました。これは地域住民の方々の御理解の賜物であり、今後とも、皆様の御支援をお願い申し上げます。

そうした政策医療分野以外に、当院は、精神科急性期医療に重点を置いています。急性期治療病棟では3か月以内の退院を目指して、医師、看護師、心理療法士、作業療法士、精神保健福祉士らがチームを組んで、色々な治療プログラムや家族の皆様に対する援助を行って

います。この病棟の平均入院日数は約53日です。

また、急性期治療を終えて退院された患者さんの再入院を防ぐ、あるいは、通院患者さんの日常生活リズムを保つためなどに、デイケアや精神科訪問看護を御提供しています。デイケアでは、患者さんの状態やニーズに応じていくつかのプログラムが用意されています。訪問看護では、複数のスタッフが御自宅を訪問し日常生活を送るうえでの様々な問題点を御家族とともに話し合い支援するシステムです。これらを有効に利用していただくことにより、安定した地域生活を目指します。

当院には、現在、病棟が3棟ありますが、そのうち、開放病棟として使用している病棟が築後40年以上が経過し、入院される患者さんに快適な療養環境を提供することができなくなったことから、平成23年度は、開放病棟1棟を新築することにいたしました。新しい病棟では、主にティーンエイジャーの患者さんの入院治療のための12床のユニットを作ります。ここでは、統合失調症やうつ病といった精神病の他に、この年代に特有の色々な精神障害の治療を行います。また、これまでの開放病棟よりも個室を増やし、成人のうつ病の休息入院などにも対応できるようにアメニティーを充実させたいと思っています。工事等が順調に進めば、平成24年の春には完成予定です。

私たちの東尾張病院は、公的機関としての役割を果たしつつ、時代と地域のニーズに相応した医療の提供を目指して、職員一同研鑽を積んでおります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

発行元 独立行政法人国立病院機構東尾張病院
発行責任者 舟橋 龍秀

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~eowari/>

〒463-0802
名古屋市守山区大森北2丁目1301番地
TEL : 052-798-9711
FAX : 052-798-5554

第6病棟の紹介

社会復帰・退院促進に力を入れている慢性開放病棟です。長期入院の患者さんの地域生活に向けて「退院準備プログラム」の実施や社会生活技能の回復を図ることを目的としたSST（社会生活技能訓練）を実施しています。

当病棟では、入院生活が単調にならないように、様々なレクリエーションを計画し、患者さんの気分転換となるような工夫をしています。昨年の病院全体行事のクリスマス会では、ダンス・クリスマスソングの合唱、ハンドベル演奏を披露しました。本番の1か月前から毎日練習し、当日は大成功で患者さん・職員で喜びを分かち合いました。クリスマス会終了後は写真を掲示し、楽しかったことを振り返り、参加できなかった患者さんや職員とも感情を共有できました。

患者さんの中には高齢の方もおられ、転倒・転落の危険も伴います。それを予防するために「365歩のマーチ」に合わせて毎日体操を行い、運動不足の解消・筋力アップに努めています。

私たち看護師は、患者さんのホスピタリズム形成を防止し生活の質を落とすことのないような関わりを心がけています。また、一人でも多くの患者さんが地域で生活できるよう願い、チーム医療のコーディネータ的役割を担っています。そして、患者さんの生活の活性化と微笑みが絶えない日々の関わりを大切にしています。



▲クリスマス会の様子

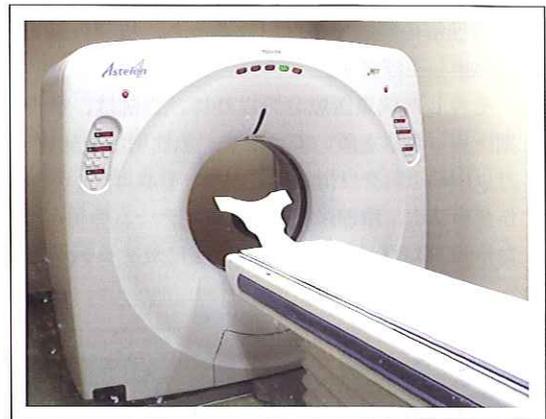


▲毎日の体操の様子

放射線科

1895年、レントゲンによって発見されたエックス線（X線）は、物質の中を通り抜ける力や写真フィルムを感光する力があります。X線は、透過する組織の密度によって吸収される割合が異なり、この性質を病気の診断に利用したのがX線診断です。X線（レントゲン）写真では、分子密度の小さい空気がほとんどである肺はX線が透りやすく、骨はX線が透りにくく、筋肉などの組織はその中間となるので、胸の写真では骨が白く、肺が黒く見えます。東尾張病院では、コンピューテッド・ラジオグラフィシステムを導入し、X線画像をデジタル処理することにより、高品質な画像提供を行っております。さらに、3月からCT撮影装置が新しくなります。CT撮影（X線コンピュータ断層撮影）は、人体を輪切りにするようにX線撮影することにより組織や臓器が重なっている場合でも病巣を捉えることが容易となり、新しくなった当院のマルチスライスCT装置は、広範囲をより細かく撮影することができます。また、従来の輪切りの写真だけでなく、3次元の写真を作ることもでき、CTの検査時間も10分～20分程度と短時間で終わります。

当院放射線室では、精神科におけるX線診断部門として患者さんに安心して検査を受けていただけるように心がけて撮影しております。放射線被ばくの不安や疑問などがありましたら、遠慮なく技師に声をかけてください。



作業棟紹介(その3)

作業棟紹介の最後の今回は、作業療法士による退院支援について紹介したいと思います。

当院には、退院して地域で生活を営むことを目標にしている患者さんが沢山いらっしゃいます。その入院中の患者さんに対し、地域生活での様々な困りごとが少しでも無くなるように、作業療法士が支援をしています。

例えば、退院後の地域生活で困ることの一つとして、食事があります。毎日当たり前のように行っている食事ですが、調理方法だけでなく、食材を調達する近所のスーパーがどこにあるか、献立を何にするか、片付けやゴミの分別はどうやってするのか、食費をどうやってやりくりするか、どのように栄養面を配慮すればよいか…など、『食事』という一つの活動には多くの要素があります。これは、久しく地域で生活をしていなかったり、初めてアパートで一人暮らしをする方にとっては、様々なことで難しいと感じてしまうことがあります。そこで、退院後に自信を持って食事の準備ができるように、入院中から個別で作業療法士と調理の練習をします。入院中はなかなか使わない炊飯器や電子レンジを使って、実際に炊飯器で御飯を炊く練習や、炊いた御飯を冷凍保存し、電子レンジで温める練習をしたこともあります。患者さんと作業療法士と一緒にスーパーに出かけ、簡単に調理できる食材や便利調理グッズを探して、無

理せず楽しく食事の準備をする方法を学んだりします。

さらに、最近では、携帯電話の使い方を患者さんと一緒に練習することがあります。近年、急速に普及し、一人1台持っている時代になった携帯電話は、患者さんの連絡手段として欠かせません。電話の発信や受信、充電の仕方やアドレス帳への登録方法などの基本操作を練習します。

このように、作業療法士は、退院を目標にしている患者さんの身近な困りごとと一緒に解決し、退院した後も地域で安心して生活できるように支援しています。何かお困りごとがありましたら、一度、御相談ください。



病院バスの運行経路・時刻表のお知らせ

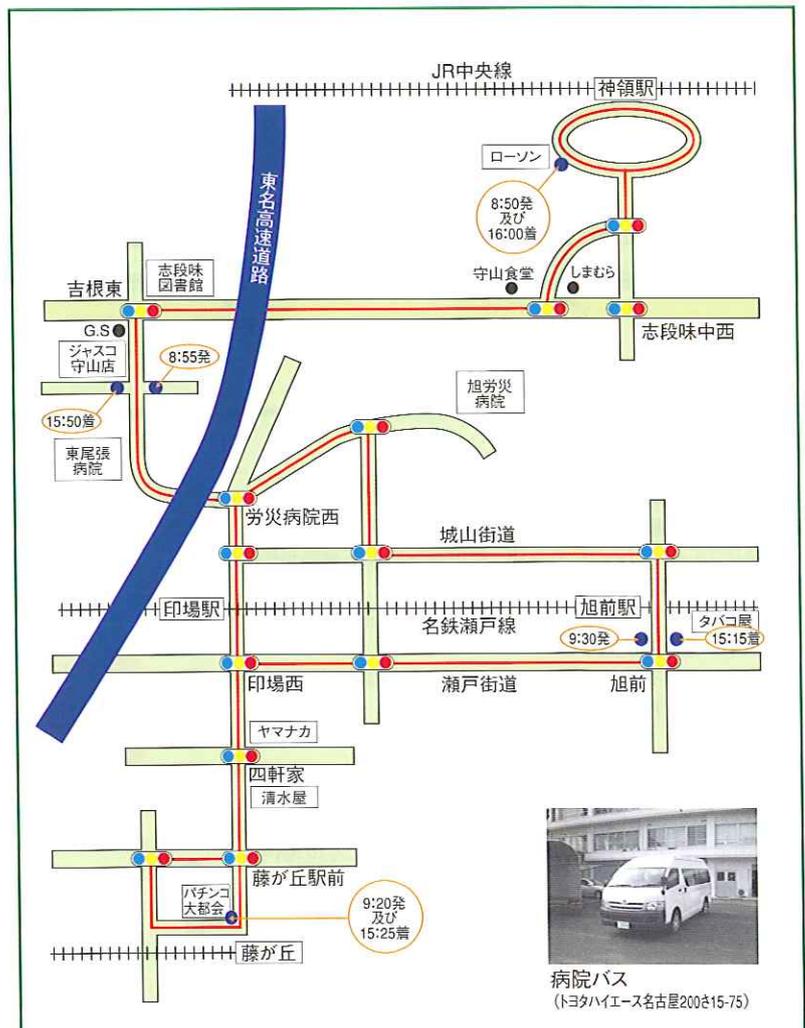
午前	午後
病院発 8:40	病院発 15:10
神領駅 8:50	旭前駅 15:15
ジャスコ 8:55	藤が丘 15:25
病院着 9:00	病院着 15:40
病院発 9:05	病院発 15:45
藤が丘 9:20	ジャスコ 15:50
旭前駅 9:30	神領駅 16:00
病院着 9:35	病院着 16:10

※土曜、日曜、祝日は運休します。

■病院マイクロバス乗り場案内

- 病院……当院玄関東側の車庫前
- 旭前駅……名鉄瀬戸線旭前駅東側のタバコ屋前
- 藤が丘……地下鉄藤が丘駅西側のパチンコ店角
- 神領駅……中央線神領駅ロータリーのコンビニ前
- ジャスコ……守山ジャスコ南東側の高架下

※交通事情により多少遅れることがありますので、御了承下さい。



	月	火	水	木	金
第1診察室	桑原	木村	吉岡	酒井	菅原
第2診察室 (初診)	加藤 第1・3・5週 青木(第2週) 木村(第4週)	川崎	桑原/酒井	鳥居 第1・3・5週 菅原 第2・4週	野村
第3診察室	舟橋	青木	舟橋	加藤	川崎
第4診察室	八木	鳥居	青木	八木	木村
第5診察室	野村	菅原	加藤	吉岡	鳥居
第6診察室	川崎	(予診)	藤倉	野村	(予診)

(注1) 受付時間は、8:30~11:30です。

(注2) 家族相談、訪問看護、セカンドオピニオンも行っております。詳細につきましては、お問い合わせください。

病院へのアクセス



名古屋方面から 電車・バスで

- 地下鉄東山線藤が丘駅下車、市バス藤丘12系統 東谷山フルーツパーク行き乗車、東尾張病院南下車徒歩約5分
- JR中央線・地下鉄名城線大曽根駅下車
 - ① ゆとりーとライン志段味スポーツランド経由中志段味行き乗車、東尾張病院下車
 - ② 名鉄瀬戸線で印場駅下車徒歩約20分、又は旭前駅下車後タクシーで約8分

名古屋方面から 乗用車で

- 瀬戸街道(県道61号線)印場西交差点を北上、4つ目の信号「労災病院西」を左折してすぐ左手

春日井方面から 乗用車で

- 竜泉寺街道(県道15号線)吉根東交差点(ジャスコ)を南下し、二つ目の信号を過ぎて約500m行った右側

